

NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会
 (振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)
 〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333
 URL <http://www.12.plala.or.jp/hokjioka/> →変更:www.hokjioka.net E-mail: codmokan@agate.plala.or.jp

定価:250円、年額:3,000円(送料込)
 *会員は会費(支援金)を含む



《写真説明》
 10/24: 修学旅行3日目
 ニセコの宿泊先「カリン
 パニ藤山」玄関前にて。
 ~廃校舎のユースホステル
 の子どもと一緒に。

■■ INDEX ■■
 P1: 巻頭言
 P2: ヒューマントラスト/
 普及活動、会費納入他
 p3: 「雑誌記事の紹介」
 p4-5: 「修学旅行2012」
 p6-7: ↓「仕事体験」
 p8: 時事、スケジュール他

「学校と子どもの成長」

自由が丘月寒スクール学園長 大塚 勲

先日のTV番組で、重い脳機能障害のためずっと介護施設で育ち、その後生活の自由を求めてそこを出て、20年以上一人暮らしを続けている女性が紹介されていた。現在は24時間介護を利用しながら、外出も楽しみ、日々のできごとや自分の思い・感情を独自の口調で文章化し、ブログなどで発信し続けている。その文章は多くの人々に明るい希望を感じさせ、まもなくそれをまとめた本が出版されるともいう。しかし、この女性は学校教育を全く受けられず、文字や言葉は、周りの人の助けも受けながら自分で学習したとのことだ。

また、教育評論家として有名な尾木ママがある番組で、学校の一番大切な役割は、子どもの「自己肯定感」を促す援助だといっていた。「自己肯定感」が大きな子どもは、自ら学ぶ力や成長する力も大きいという。「自分の命を愛しく思える子どもこそ他人の命も大切に思うことができる」という言葉にもすごく納得した。

現実の学校は子どもに何を与えることができているだろうか。今学校は、かなりの数の「不登校生」を出し続ける一方、登校する子供の間には「いじめ」や「自殺」、勉強嫌いなど深刻な問題が広がっている。こうした状態を考えると、学校教育の改革も重要だが、同時に子どもが学び成長する場を学校だけに限定する考えも改める必要がある。子どもの「学ぶ権利」や「生きる権利」を保障する場として、当月寒スクール(子どもたちが元気に通学し、様々な学び方を実践している)のような場も、学校とは違ったやり方で大きな役割を果たしているのだ。

原発ゼロを求める多くの国民が自らの声を力強くあげ始めた今日、学校や教育を良くするためにも、子どもが元気に成長できる場を広げるためにも、親や教師などを中心に幅広い国民が大きな声をあげ続けることが必要だし、そうすることが、大人としての現在や将来の子どもに対する義務でもあるのではないだろうか。

週刊ポスト掲載

「民間教育の取り組み」：自由が丘学園が紹介されました

2012.11.10 吉野 正敏

●10/中旬に打診、26日に記者・カメラマンが来礼し、終日取材です。この8月掲載の「いじめられる子、不登校児が生き返る全国私塾」の反響がよく、続く企画として「各地の学校外での教育実践=子どもの自立支援」特集との事でした。

●当方、自然体で対応。当日は、1時間目=行事/修学旅行まとめ、2時間目=秀一さんの日本語、午後=やってみる科他、昼食や放課後の交流、サポーターのOBOGへのインタビューもあり熱心でした。何より、生徒達の対応の仕方~フレンドリーさには感心です。本当に頼もしい。

●この取材を受けながら、私も自由が丘の理念や実践の到達レベルを改めて振り返る機会になりました。夕張スクール以来、未達成の課題もありますが、民間組織として生徒受入・成長支援・普及協同活動・エコスクール展開等を蓄積してきたことは、多くの会員・読者さんの支援があってこそでもあり、深く感謝します。

●日本社会は3.11を含め大きな転換期にあります。経済不況や格差の中で、国・政府は地域や市民特に老人・児童・医療介護分野・中小企業者など弱者に対し非常&非情な困難を押し付けており、これらに伍して民主的な取り組みをどう持続発展できるかが大切なテーマです。

教育制度改革が問われる時に、《子ども達が主人公=学び成長する主体者》《自由と協同》の人間形成的教育を柱に据え、その学び舎を市民と共に構築する営みを更に掲げたいものです。



◆計報: 道又健治郎さん/元札幌大・北大、神山桂一さん/元北海学園大・北大・自由が丘顧問 — ◆
 長年、ご支援頂きました。ご冥福をお祈りします。

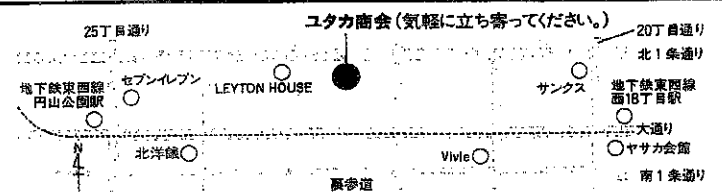
□■2012年度・NPO年会費納入者■□
 ありがとうございます(11/5現在、敬称略、*寄金含)
 【札幌市】〔北区〕舟木恵子、〔中央区〕木村邦弘
 【厚別区】菅野智篤・真理子
 【道内】〔北見市〕山本勝憲
 【釧路市】今重一・瞭美/弁護士
 *物販大口: スープ / 西尾皮膚科医院

私たちが自由が丘を応援しています!

いちど見に来て みませんか。

Fashion
Maryama

ユタカのある円山の町。北海道神宮に代表される伝統的な感覚と、裏参道沿いに広がる最新のファッションの感覚が調和する不思議な町です。



Nordland
 株式会社ユタカ商會
 〒064-0821 札幌市中央区北1条西22丁目
 TEL(011)842-8110